

知っておこう 女性のがん

女性は、ホルモンステージやライフステージによって、男性とは異なった健康リスクがあります。

国立がんセンターの調べ（平成 30 年）では、女性の死亡率が高かったのは、大腸がん、次いで肺がん。罹患率が最も高かったがんは、乳がんとなっています。

乳がん

女性が生涯に罹患する確率が 10.2%と最も高いがんです。治療には 10 年かかると言われていますが、早期発見できれば 5 年ほどで治療できる場合も多いです。

また、乳がんは唯一自分で発見できるがんで、入浴時の自己チェックは大変重要です。

子宮体がん

子宮内膜に発生するがんです。ホルモンと密接に関係していて、閉経後の 50 歳～60 歳代に発症のピークが訪れます。最もよくみられる症状は出血で、特にピンクや茶色が少し混ざったような少量の出血まじりのおりものには要注意です。

子宮頸がん

30 歳代までの若年層の女性に多く、HPV というウイルスの感染が原因で、発症することが明らかになっています。そのためウイルス感染を早期発見することで早めに対策を立てることができます。初期には全く症状がないため、定期的に検診を受けることをおすすめします。

肺がん

喫煙の有無に関係なく、多くの女性が発症しています。

多くのがんは、早期発見できれば早期治療が進められます。日々の忙しい生活の中、体のことをつい後回しにしがちですが、ご自身で注意しながら定期検診の受診をお願いします。

令和 2 年 10 月

八木 潤子